

指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 3 年度)

施設の名称	東大阪市立埋蔵文化財センター	指定期間	30 年度～ 2 年度
施設所管課	人権文化部 文化財課	指定の方法	複数施設を一括指定管理
		連絡先	06-4309-3283
設置目的	埋蔵文化財の調査、研究及び保存を行うとともに、その活用を図り、もって市民文化の向上に資するため、埋蔵文化財センターを設置するもの。		
施設内容・業務内容等	埋蔵文化財センターは、敷地面積は2,837㎡で、施設として、一階に展示室、体験学習室、視聴覚室、特別収蔵室、堅穴住居等がある。指定管理者は、施設の維持管理業務と展示業務を行っている。		
指定管理者	公益財団法人 東大阪市文化振興協会	連絡先	072-981-1212
人員体制	正規職員 2 人	パート・アルバイト 0 人	その他 0 人

2 管理運営状況等

年度		実績			今年度(予算)	次年度(見込)
		平成 30 年度	令和 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
管理形態		指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数		303	279	259	259	298
指定管理委託料(千円)		16,283	16,860	16,775	19,972	未定
利用状況指標	1 入館者数(人)	12,102	11,044	3,976	補足説明 令和2年3月2日～5月22日 緊急事態宣言発令につき 臨時休館	
	2 体験学習参加人数(人)	8,033	8,431	1,951		
	3				補足説明	

3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示): S=チェック項目が全て○、A=×がなく「得点」が中間点以上、

B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。

「最終評価」(任意決定): 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点		施設担当課のモニタリング	
		個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点	施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	A	埋蔵文化財センターの設置目的を理解し、適切な管理運営ができています。避難訓練について、最低限年1回は実施されたい。
B 管理・運営能力	人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	A	設備・備品・清掃については、適切に管理及び実施されている。人員体制について、開館時間に合わせて業務が開始できるよう十分な体制を確保されたい。
C サービス	平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	A	展示については、子どもや車椅子利用者に配慮した場所に設置されており評価できる。また、外国語表記については部屋名のみの表記に留まっており、また英語表記に限られているため、他の利用案内への対応や多言語の表記が必要である。
D 市民視点	市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	A	アンケート結果の館内掲示やホームページでの掲載を求める。
E 効果・効率性	施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	A	他施設の分と合わせて消耗品を一括購入するなど経費の縮減が図られている点は評価できる。また、展示については年1回のリニューアルとなっておりマンネリ化しているので、改善が必要である。
F 法令等遵守	法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	S	法令や各種規則等を理解し遵守できている。引き続き法令等の遵守が求められる。
課題への対応 今後の取組		最終評価 (任意設定) A	展示についてはリニューアル回数を増やし、内容を充実させることが必要である。また、避難訓練については最低限年1回の実施を求める。